

～おおたウエルカムボランティアインタビュー～ Vol.4

今回は来年の活動に期待を膨らませるおおた高校生ボランティアの声をお届けします。ボランティアを申し込んだきっかけやこれまでの課外活動のエピソードなどをインタビューしました。来年、スポーツ分野と一緒に活動する高校生ボランティアインタビューをぜひご覧ください。

◇ インタビューに協力していただいた高校生ボランティア



はまだ
□ **浜田さん** 写真:左

中国に4年間在住し、
インターナショナルスクールに
通いながら現地のサッカーチ
ームに所属。

いちかわ
□ **市川さん** 写真:中央

アメリカに3年間在住し
ニューヨークマラソンの給水ボ
ランティアなどボランティア経
験あり。

おおの
□ **大野さん** 写真:右

中学、高校とハンドボール部
に所属。一昨年、ブラジル男子ハ
ンドボールチームが来日時の競
技講習会に参加。

おおたウエルカムボランティアに応募した理由、きっかけは？

◎浜田さん:今までボランティア活動の経験はありませんでしたが、興味はありました。人生で何度もないこの貴重なオリンピックに貢献できることは、自分の人生の中で大きな意味があるのではないかと考えて応募しました。

◎市川さん:小学校4年生のときに、東京でオリンピックが開催されることが決まり、ボランティアなどで大会に携わりたいと思いました。でも、調べてみたところ、大学生から参加できるボランティアがほとんどでした。しかし、地元大田区で高校生を対象にボランティアを募集していることを知って申し込みました。

◎大野さん:将来、スポーツに関わる仕事に就きたいと思い、今回のオリンピックに携わることを決めました。

注目している競技はありますか？

◎浜田くん:ブラインドサッカーに注目しています。ブラインドサッカーを実際にやったことがあり、視界が塞がられているので、思い通りにボールを扱うことがとても難しかったです。プレーしている選手は指示の声をどのように聞いているのかとか、指示するコーチはどんな声かけをしているのかと興味があります。それが、部活動のサッカーにも活かすことができると思うので、ぜひ見て学びたいです。

———ブラインドサッカーをしたきっかけを教えてください。

元々、友達同士でブラインドサッカーに注目をしていました。ブラインドサッカーを練習に取り入れることを部内に提案したところ採用してくれました。

高校生ボランティアの活動からご自身の将来の夢などにどう活かしていきたいですか？

◎浜田さん:中学1年生の時にインターナショナルスクールに通っていて、外国人と交流する機会がありました。価値観の違いなど、多文化を知るとはとても楽しく、その楽しさはボランティア活動でも体験できると思いました。

◎市川さん:海外(アメリカ)に住んでいた時にボランティアの経験があります。その時に海外はボランティア活動が盛んだなと感じました。その影響から、今後もボランティア活動をしていきたいなと思います。

◎大野さん:ハンドボールはまだマイナー競技なので、将来は体育教師になって、競技の楽しさを自分で伝えてきたいです。今回の活動が指導する立場になったときに糧になると思います。

市川さんはニューヨークマラソンの給水ボランティアの経験がありますが、始めたきっかけ、活動内容を教えてください。

父の会社が団体で申し込みしていて、家族も参加できたので、一緒にお手伝いさせていただきました。活動内容は、スポーツドリンクを作り、ランナーに手渡すことでした。活動した当時は10歳頃だったのですが、ランナーが子どもから優先にドリンクを取ってくれたことを覚えています。

——印象に残っていることを教えてください。

ランナーのスピードが速く、何度か給水を失敗してしまいました。また、ランナーが給水を終えたら紙コップをコースに捨てるので、片付けが大変だったことを覚えています。

——アメリカはボランティアが盛んとのことですが、他に参加したボランティアはありますか？

ピアノとバイオリンを習っていたので、老人ホームで披露したことがあります。

また、学校がボランティア活動に積極的だったので、ハロウィンの仮装して老人ホームを訪れ交流したり、クリスマスには幼稚園の子どもたちに帽子や靴下をプレゼントしたりしました。

大野さんは中学校でハンドボール部に所属していましたが、入部したきっかけを教えてください。

小学校6年生時、地元の中学校の部活動体験会があって、その時に親に勧められてハンドボール部を見学したのがきっかけでした。練習に参加したところ、とても楽しく、ぜひ中学でもやりたいと思って入部を決めました。

——ハンドボールの魅力を教えてください。

投げたり、飛んだり、走ったりと全てのスポーツの良いところが凝縮しているのがハンドボールだと思います。その魅力に惹かれ、今でも続けていています。

—— 一昨年の競技講習会について教えてください。

細かいアドバイスもらうというよりは、サッカーの遊びでやる「鳥かご」のような、ボールを使ってパスし合ったりしました。ハンドボールを通じ交流ができ、大変良かったです。

また、プロのハンドボール選手を間近で観ることは初めてだったので、体の大きさに加え、スピード感に圧倒されました。

浜田さんはサッカーチームに所属していたとき、どのようにコミュニケーションを図っていましたか？

色々な国の人による混合チームだった為、コミュニケーション方法は基本的にはアイコンタクトで伝達していました。練習後、一緒に食事したり、遠征時では海外のスマホのゲームで楽しみました。

——アイコンタクト以外のコミュニケーション方法はありましたか？

言葉でコミュニケーションを図るのが難しかったので、正確に伝えたい場合はボディランゲージを交えながら、意志の疎通を図りました。

大概のことは身振り手振りと多少の言語で、相手に伝えて、コミュニケーションを図っていました。

来年度の活動への意気込みをお願いします。

◎浜田さん:今は部活動が忙しいのですが、オリンピック間近となればボランティア活動が日頃のモチベーションのひとつになるので、人生で一番楽しかったと言えるような経験にしたいです。

◎市川さん:私も勉強等忙しくなりますが、オリンピックに関われることは今後ないと思いますので、微力ながらお役に立てればと思います。

◎大野さん:将来の夢のためにも頑張るとともに、来年は受験を控えているので、自分が好きなハンドボール、スポーツに関われることでリフレッシュした気持ちで取り組みたいと思います。

ボランティア掲示板（お知らせ）

◆ おおた高校生ボランティアを募集します！

ブラジルオリンピックチームの事前キャンプの補助など、大会を身近に感じる貴重な機会に参加してもらうため、現在、49名の高校生がボランティアとして登録しています。大会延期に伴い、追加募集しますので、ご家族やご友人など、ご興味ある方いらっしゃいましたら、ぜひ紹介してください！

○募集期間 令和2年12月1日(火)から令和3年4月20日(火)まで

○募集要件

ア 年齢:15~17歳 ※令和3年4月1日時点

イ 区ゆかり:区内在住もしくは在学

詳細は区ホームページで確認ください。

▼こちらから



♡ ブラジル応援動画を作成しています！

大会出場を目指し練習に励んでいるブラジル選手に向けた応援動画を作成しています。皆さんからいただいた動画のほか、ブラジル選手が練習を行う大田区総合体育館や大森スポーツセンターなどで区内の中学生と一緒に撮影しました。来年1月頃に完成予定です。



◇ 新型コロナウイルス感染症対策の検討をすすめています！

本年9月以降、国と大会組織委員会、東京都が新型コロナウイルス感染症対策調整会議を開催し、コロナ対策の検討を行っており、これまでの議題を整理した中間整理がなされたところです。

各国の事前キャンプを受入れる自治体に対しては、感染予防策の徹底のほか、選手の行動管理や健康把握、感染者発生時の対応を記した「受入れマニュアル」の作成が求められ、大田区でも、今後、ブラジルオリンピック委員会はじめ関係団体と調整し、具体的な対応策を講じていきます。

また、東京都主催の都市ボランティアにおいては、専門家の知見も踏まえ、感染予防の指針が策定される予定です。区としては、東京都や大会組織委員会の動向も参考としながら、ボランティアのみなさまが安全に、そして安心して活動いただけるよう、予防策を検討していきます。

♣ 聖火リレートーチの都内巡回展示がスタートしました！

東京 2020 大会の気運醸成を目的とした、オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチを都内 62 区市町村で巡回展示する取組が始まりました。間近で聖火リレートーチを見ることができる貴重な機会となりますので、大田区で展示する際はぜひお立ち寄りください！

○都内巡回展示

- ・期間 令和2年 11 月2日(月)から令和3年7月3日(土)まで
- ・場所 都庁及び都内 62 区市町村
- ・展示物 東京 2020 オリンピック聖火リレートーチ 1本
東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチ 1本
※トーチに触れることはできません。

○大田区での展示

- ・期間 令和3年6月 14 日(月)から 15 日(火)まで
 - ・場所 大田区役所本庁舎1階(予定)
- <大田区の聖火リレー走行日>
令和3年7月 21 日(水)実施予定